

(写)

令和3年9月10日

厚生労働大臣
田村憲久様

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会
会長 日野博愛

新型コロナウイルス感染症に対応する特例的な評価の継続にかかる要望

新型コロナウイルス感染症拡大に関するご対応については、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

コロナ禍が長期化し、各地の障害者支援施設においても集団感染が発生しているなか、本会会員施設においては、利用者および職員の感染防止の徹底を図り、日夜最大限の警戒を維持しながら利用者への支援にあたっております。

令和3年度障害福祉サービス等報酬改定では、新型コロナウイルス感染症に対応するために、9月末までの間、基本報酬に0.1%上乗せする特例的な評価を設けていただき、施設においては、感染予防に対応するためのかかり増し経費の負担が増すなかで貴重な財源となっております。しかし、期間の終了が迫る現在においても全国的に感染拡大が続き、コロナ禍の収束が見通せない状況にあり、感染防止を徹底した支援の提供が求められています。

重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患を有する方が多く入所する障害者支援施設において、これからも職員が安心してサービス提供し、利用者の生活を守り抜くことができるよう、以下のとおり要望します。

記

長期化するコロナ禍のもと、障害者支援施設において感染対策を徹底し、すべての利用者と職員が安心・安全に過ごすことができるよう、基本報酬における「新型コロナウイルス感染症に対応するための特例的な評価」を本年10月以降も継続してください。